部活動をカゲで支える、あの人この人。

北科大高 Supporters

体づくりとケアで、ピッチに立つ自信を。

清田あおば接骨院・鍼灸院
柔道整復師
中村 康太郎 さん

僕は北科大高のOBで、サッカー部に所属していました。支えてくれたトレーナーがきっかけで柔道整復師の資格を取って、今は清田区の整骨院で働きながら、休日はサッカー部の外部コーチとして筋トレや体幹トレーニング、けがのケアを担当しています。選手一人ひとりの走り方や姿勢を見てアドバイスして、試合前のテーピングもやってます。選手たちが自信を持ってピッチに立てるように、これからも体づくりとケアの両面で支えていけたらと思っています。





魚豚中華そば ラギ☆一番
店長
七條 尚弥 さん

自慢のまぜそばで、元気をチャージ!

北科大高が手稲に移転してきた頃から、高校生でも500円で食べられるこってり系の『まぜそば』を始めました。麺は150〜300gまで追加料金なしで選べます。サッカー部の子たちをきっかけに広まったみたいで、今では常連さんも多いです。サッカー部の優勝祝いにまぜそばを無料で出した時、たくさん感謝の言葉をいただいて。これからはどの部活でも優勝したら無料にしようと思ってます(笑)。ほかの部活の子も、女子も大歓迎!お腹いっぱいになって、勉強も部活もがんばってほしいです!ちなみに向かいで美容室も経営しているので、ぜひ。

発見!あたらしい自分。

学校見学・説明会 開催中

プログラム内容
- 校長挨拶
- 施設自由見学
- 学校説明
- 個別相談
- 授業公開
- 部活動体験

※受付開始は開催日の2週間前を予定しています。

詳しい日程・エントリー情報などはこちら
https://hs.hus.ac.jp/event/

北海道科学大学高等学校
〒006-0817 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-2
TEL: 011-699-6987　FAX: 011-699-6950
HP: https://hs.hus.ac.jp

+Professional
コミュニケーション力、課題発見解決力、自己実現力、ヒューマニティといった基盤能力を基に、専門性を身につけた人材を育成します。
すべての設置校に共通する、わたしたちのスローガンです。

学校法人 北海道科学大学
北海道科学大学
北海道自動車学校

vol.18／2026.10月発行　企画編集・発行／北海道科学大学高等学校 後援会

カガクch

北科大高の「声」と「今」を伝える

Vol. 18 2026.10



生徒会長
千葉 大

最高の一日の裏側で

裏方で主役!!!

特集:第67回学校祭　千葉生徒会長に密着

今日、何回呼ばれました？

朝ラーメンで気合十分

11:30／生物準備室

会長は朝から元気だった。朝はラーメンを食べてきたという。気合い十分。この時点では、まだ余裕がある。

12:10／模擬店オープン

校内が一気に学校祭の顔になる。同じ時刻、体育館では有志発表会が始まった。会長は、舞台袖にいた。インカムを持ち、短く指示を送りながら、これから舞台に上がる演者たちを順に誘導していく。表情は真剣そのものだ。袖には、出番を待つバンドメンバーたちが立っている。声を出し、演奏の確認をし、気合いはバチバチに入っている。その片隅で会長は、体育館全体を見守っていた。

体育館での有志発表は、お昼をまたいで14時過ぎまで続いた。

とにかく生徒みんなが会長に相談しにくる。生徒会室でも、放送室でも、廊下でも、必ず誰かが寄ってくる。足を止め、話を聞き、決められることは決め、分からないことは分かる人へ回す。相談が集まる理由が少し分かった。会長、何を言われても冷静だ。「全部自分で決めるというより、誰に聞けば、困りごとが前に進むかを判断しています。自分が止まると、そこで詰まることもあるので」。

物理プレー始まる

14:40／模擬店終了

ここから会長は、完全に現場の人になった。家庭科室の原状復帰。各クラスから余った食材を受け取り、黙々と冷蔵庫を動かす。会長というより、現場監督である。

生徒会室と放送室を行き来したあと、生徒会が企画したフォトスポットの撤収へ。会長は手を止めず、風船の空気を抜き、椅子と机を運び出していく。会長の仕事は、思っていたより物理プレーだ。

昼食、パピコ

16:20／クラスステージ

体育館が盛り上がっているあいだ、会長は別の部屋で作業をしていた。「青春フォトグランプリ」の受賞作品の調整。そして、閉幕のあいさつの原稿整理。どちらも本番直前である。「最初から用意していた言葉もあったんですけど、変えたいところが出てきました。今日のみんなを見たあとじゃないと、言えないこともあるなと思って」。この時ようやく昼食タイム。パピコ（アイス）を口にする。朝のラーメン以来の食事だった。

17時ごろから約30分間、各部門の優秀作品の選定が始まった。舞台裏は、ここまでとは空気が違った。声が一段低い。誰も雑談をしていない。時計を見ては、短く言葉を交わす。理由ははっきりしている。この日は、動かせない時刻がひとつあった。時間になれば始まってしまう。生徒がそろっていようがいまいが、待ってくれない。残り時間は、そこから逆算するしかない。

その中で、会長だけが変わらなかった。急かさない。冷静。

「去年と同じなら楽だったかもしれないです。でも、同じことだけをやるなら、面白くないじゃないですか」。

冷静沈着、でも心は正直

心拍数は、嘘つかない。

18:00／結果発表

各部門の受賞が読み上げられるたびに、体育館が沸いた。この日いちばんの熱量だったかもしれない。そして、会長あいさつ。ついさっきまで冷蔵庫を運び、風船の空気を抜いていた人が、全校生徒の前に立ち、語りはじめた。「歴代の生徒会長ってみんな、ここに立って感動のスピーチをするんですけど。なんとなく、理由が分かった気がします」一拍置いて、こう続けた。「僕は泣きませんけど」あくまで冷静。会長らしい。

「ところで、皆さんとの公約を覚えていますでしょうか。今までにない、行事体験です。僕はこの公約を、守れたのでしょうか」。沸き起こった、会長の問いに応える大歓声。スピーチの後、こんなことを明かしてくれた。「こういうのは緊張しないんですけど。今、心拍数が136を超えています」。

最後に、会長は仲間を壇上へ呼んだ。生徒会のメンバー、放送局。生徒会長を支えてくれた人たち。「みなさん、本当に本当に、ありがとうございました」大団円。こうして、学校祭は幕を閉じ、ない。今年は、もう一つのフィナーレが待っていた。

誰かのひとことで、猛ダッシュ。



「花火行こう」で、火がついた。

18:45／移動

各クラスが大学側のグラウンドへ移動していく。生徒会長選で掲げた公約が、今、まさに始まろうとしていた。打ち上げ花火だ。生徒会と放送局は、体育館に残った。撤収作業がある。実はこの日、会長は早い段階で言っていた。「花火は多分、僕見れません」。自らの公約で実現した花火は、最初から諦めていた。「片付けを途中で投げ出して行くわけにはいかなかったので。いや、行きたかったですけど。めちゃくちゃ行きたかったですけど」。黙々と手を動かし続け、ようやくひと段落したのは、打ち上げの1分前だった。「花火行こう！」誰かがそう言った瞬間、体育館から会場へ、全員がダッシュした。

19:45／花火

大歓声が上がる。会長は地面に座り、自前の一眼レフで、ベストショットを狙っていた。「正直、見られるか分からなかったです。自分がやりたいって言っていた花火」。最後に、カメラ目線で一枚撮らせてもらった。充実感と疲れが、両方写っている。この日の歩数、16,652歩。



千葉会長、お疲れさまでした！

先生たちの素顔、みせちゃいます。

先生のホント

The real face of teachers

担当／情報　指田 あすか

気づけばどっぷり。







趣味、、、忙しくて今はないです。強いていえば、ダムが好き。橋も好き、城も好き。歴史も、旅行も。その中で1つ挙げるなら『謎解き』かな。夫に誘われたのがきっかけで始めました。もう10年ぐらいになります。もともとミステリーが好きで、学生時代は小説をよく読んでいました。事件ものとか、未解決事件を扱った話って、つい見ちゃうんです。『名探偵コナン』は家に全巻あります（笑）。

謎解きには、家で楽しむものや、街を歩いて手がかりを探すものがあります。東京に行って捜査ゲームに参加することもありますね。歴史的な建物や街並みを舞台にした謎解きだと、その街の景観も知れて面白いんですよ。ただ、私はあまり歩くのが好きじゃないので、家で資料をじっくり読みながら解くほうが多いかもしれません。やっぱり、答えが明かされる前にトリックに気づけたときが、一番気持ちいいですね。登場人物の言葉や行動を照らし合わせていくと、「この人だけ、何か違うな」と気づくことがあるんです。一つひとつの情報が、犯人や仕掛けを見抜く手がかりになる。『謎解き』は私にとって、気分転換なんですよね。

実は授業でも、こういう話をすることがあります。例えば、インターネット上の発信。画面には名前が出ていなくても、通信の記録などをたどることで、誰が発信したのかを調べられる場合があります。「なんで分かるの？」と思うかもしれませんが、そういう記録が手がかりになるんです。

情報をもとに考えるって、大切です。今の時代、指示を出せれば、AIがちょっとしたプログラムを作ってくれます。ただ、作ったものの責任を持つのは人ですから。全部丸投げして「何をしているか分かりません」だったら意味がありません。謎解きでも、手がかりを見つけて「どういうことだろう」と考える。生徒の皆さんにも、便利なものを使うときも、一度自分で考えてから扱えるようになってほしいです。



解けたらスッキリ。

留学STORY

行ってきた、セカイ。

これから飛び立つ2人と、留学を終えた2人。それぞれの留学ストーリー。
海外での挑戦や現地でのできごと、留学を通して感じたことを4人に聞きました。



さて、セカイで何、ディグる？

山田　いや〜、ニュージーランド良かったっす。4週間、すごくいい経験になった。スノーボード選手のけがの予防や、競技へ復帰するためのトレーニングについて学んできたよ。

髙橋　いいな〜！ 私も早く留学に行きたい。ごはんはおいしかった？

坂倉　ね、確かに気になる（笑）。

山田　全部味が濃い！ 野菜もほとんど出てこなくて。帰国便の機内食でトマトを食べたとき、「みずみずしい！」って感動した。（一同、大笑）

髙橋　片岡さんは留学どうだった？

片岡　私は韓国に5週間行ったよ。喜界島でサンゴ礁の調査に参加したとき、旅行による環境への影響を知って、韓国では観光と環境保護のバランスについて調べてきたの。

坂倉　すみれちゃんはイタリアだよね。どうしてそこを選んだの？

髙橋　小学生の頃から合唱団に所属していて、オペラをやっている先生に憧れてたから。本場・フィレンツェで学んでみたいなって。

坂倉　私は将来の夢でもある、麻薬探知犬ハンドラーを目指してイギリスへ！

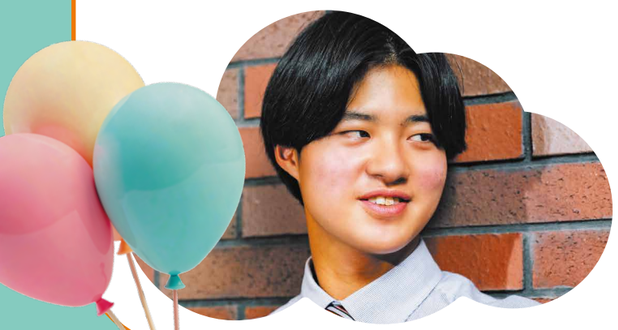
山田　麻薬探知犬ハンドラーって初めて聞いた！

坂倉　犬と一緒に空港で手荷物を検査する仕事。犬と一緒に働けることに魅力を感じたんだ。

片岡　みんなテーマがしっかりしてるね。

山田　ニュージーランドには世界中のスノーボード選手が集まるんだ。同じ競技の選手に直接話を聞きたくて、留学先に選んだよ。

トマト!! みずみずしい



留学をつかむまでのあれやこれや。

髙橋　私、計画がまとまり切っていなかったから、正直落ちるかもと思ってた。だから面接の時、フリップの最後に「どうしても行きたい！」って書いた。

山田　最後は気持ちで勝負だね（笑）。自分は少し手を抜いた資料を父に見せたら、めちゃくちゃ怒られた。

一同　おお……。

山田　悔しくて本気で作り直した。何日も教頭先生に見てもらって受かったんだと思う。

片岡　私は「トビタテ！留学JAPAN」はダメだった。できそうにないことも、計画に入れちゃって。学校の制度では、実際にできる内容に変えて受かったよ。

坂倉　私もトビタテに応募したテーマが将来の夢につながってなくて。学校の制度ではテーマを見直して、留学できることになった。



それいけ！ジャパニーズカルチャー！

髙橋　山田くんは、世界の選手とどうやって話したの？

山田　ゲレンデやリフトで一緒になった人に、自分から話しかけた。「もう一生会わないかもしれない」と思って。

髙橋　突撃コミュニケーションだね（笑）。

山田　ホストファミリーには、お好み焼きをつくった。レシピを聞かれるくらい好評だったよ。

坂倉　お好み焼きコミュニケーション（笑）。

片岡　私は豚汁！ あと日本のお菓子を持っていったら、それがきっかけで友達ができた。

山田　お菓子コミュニケーションだね（笑）。

突撃！ コミュニケーション!!



行ってくる、セカイ。



ちょっと大きくなった（気がする）留学後。

髙橋　実際に留学して、何か変わった？

山田　最初の1週間はつらくて帰りたかったけど、困ったときは助けを求めてもいいんだって分かって、その後は思い切り楽しめた。帰国後は「大きくなったね」って言われたかな。ココロも、カラダも（笑）。（一同、笑）

片岡　私は韓国語が思ったより通じて、「意外とできるかも」って自信がついた。年齢や国籍の違う人と関われたのも大きかった。また大学行っても留学に挑戦したい！

坂倉　私たちも自信つけて帰ってこようね。英語力も上げたい！

髙橋　現地で学んだオペラの表現方法を、合唱団にも持ち帰れるようにがんばる。

意外とできるかも！

留学のことなら、あの人に聞く。



山田　教頭先生には本当にお世話になりました。資料も何日も見てもらったし、面接練習にも付き合ってもらいました。

髙橋　アドバイスも的確で、「ここを直そう」って一緒に考えてくれるんだよね。

片岡　私たちも何度も相談に乗ってもらいました。一人じゃ、ここまで計画をまとめられなかったと思います。

坂倉　留学を考えている人は、まず教頭先生に相談してみるのがおすすめ！

一同　とりあえず、教頭先生！

とりあえず 教頭先生!!

留学を考えている生徒へ

「トビタテ！」への挑戦を、最後まで応援！

「トビタテ！留学JAPAN」に採用された生徒には、同制度の奨学金が支給されます。本校では、トビタテに出願したものの採用に至らなかった生徒に対しても、独自の奨学制度により留学費用を最大30万円支援します。また、応募に向けたプレゼンテーション対策も学校がサポート！今年度は3名が「トビタテ！」に採用、さらに2名が本校独自の奨学制度を利用して留学へ！